

おどろ

永平寺町議会だより

第81号

INDEX

令和8年2月6日発行

特集 決算認定・事務事業提言 P4~10

そこが聞きたい！

議員10人が一般質問 P16~19



永平寺町議会
facebook

永平寺町議会

検索

議会だよりは
こちらからも
ご覧いただけます▶



永平寺町
LINE



永平寺町
防災メール



こどものあそびば えいばーく
(11ページに紹介記事)

町議会議員報酬の見直しに関する審議結果について

町議会議員報酬の見直しについて町へ要望を出したところ、町が特別職報酬等審議会に諮問した。4回の会議を開催いただいた結果、令和8年8月1日から議員報酬を引き上げることが妥当との答申をいただいた。

○議員報酬・改定時期について

審議会において、①物価上昇を根拠とした月額、および②「議員報酬・政務活動費の充実に向けた論点と手続き（令和4年2月全国町村議会議長会委託研究事業の「原価方式の算定モデル」に基づいた月額を算出し、議会案の妥当性を審議した。

その結果、下記の通り議員の報酬月額が妥当であるとの判断に至った。

また、改定の時期については、志を持った町民が立候補できるよう、次回改選後である令和8年8月1日とすることが適当であるとした。

	議員報酬月額 (現在)		議員報酬月額(令和8年8月1日～)
議 長	290,000円		330,000円 (年額 約535万円)
副議長	230,000円		261,000円 (年額 約423万円)
議 員	220,000円		250,000円 (年額 約405万円)

令和8年度 永平寺町議会モニター募集中

1 目 的

議会の運営等について、ご要望、ご意見をいただき、分かりやすい開かれた議会を実現するために議会モニターを募集します。

2 募集内容

- ◎募集人数 10人以内
- ◎任 期 委嘱の日から概ね1年間
- ◎活動内容
 - (1) 議会や各委員会等を傍聴または議会のケーブルテレビ中継・録画などを視聴の上、感想・意見・提案を寄せていただきます。
 - (2) 「永平寺町議会だより」「議会ホームページ」「議会SNS」などに関する感想・意見・提案を寄せていただきます。
- ◎応募資格 満18歳以上の町民（町内に居住、勤務、または在学している個人）であること。
国会議員・地方議会議員及び永平寺町職員でないこと。
- ◎報 酬 有償とします。
- ◎応募方法 令和8年3月13日（金）までに議会事務局へ、住所・氏名・年齢・職業・電話番号をお知らせください。（持参、郵送、FAX、メール可）
- ◎応 募 先 〒910-1192 吉田郡永平寺町松岡春日1-4 永平寺町議会事務局
TEL0776-61-3950（直通） FAX0776-61-2434
E-mail gikai@town.eiheiji.fukui.jp



モニター募集

新年あけましておめでとうございます。

町民の皆さまには、希望と共に令和八年の新春を健やかに迎えられたことと、心よりお慶び申し上げます。また、平素より町議会の活動に対し、深いご理解と温かいご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年は合併20周年事業が華々しく行われましたが、現在、私たちの町を取り巻く環境は、人口減少への対応や地域産業の担い手確保、災害への備えなど、引き続き多岐にわたる課題に直面しております。こうした中であっても、町民一人おひとりの力を結集し、地域を支える各団体・事業者の皆さまのご尽力により、着実に前に進むことができた一年であったと実感しております。

町議会といたしましては、「開かれた議会」「対話する議会」を基本姿勢に、町民の皆様の「声」を丁寧に受け止め、未来を見据えた政策議論を行って参りました。特に、生活基盤の充実、子育て支援、安心して住み続けられる地域づくりなど、町の持続可能性を高める視点を重視し、町政への提言と検証に取り組んでおります。

本年も、議会の役割である「合意形成」と「監視・提案」の機能をしっかりと果たし、町民の皆さまが安心と誇りを持てるまちづくりをさらに前進させて参ります。また、迅速で分かりやすい情報発信に努め、より身近で信頼される議会を目指します。

結びに、皆さまの一年が健康で実り多いものとなりますよう心より祈念し、新年のご挨拶いたします。

新年議長挨拶

永平寺町議会議長

酒 井 圭 治

次回定例会は

3月2日(月)

開催予定

議場で傍聴できます。
ぜひお越しください!

議会HP

役場本庁舎3階までお上がりください。エレベーターもご便利です。事前申込不要!

※ 3月議会日程の配布が一般質問の都合で各戸配布出来ないのホームページ等でご確認ください。

町のため、議会は提言します。

決算で終わらせない、次は予算へ。

令和6年度 決算認定に係る意見

令和6年度の予算の使い方を
振り返り、意見を出し合いました！



● デマンド交通・試行運転業務

事前にその目的や目標値を定め、本格実施の判断基準を明確にすること。

pickup!
P8

● 永平寺町ブランド戦略

精査し、アクションプランを見直すこと。

pickup!
P8

● 保育士や学校給食調理員

人手不足は継続している。要因を明確にしつつ、今後の対策や計画を柔軟に進めていくこと。

● 地域づくり

地域づくりは町の土台づくりである。

地域づくり推進事業、文化芸術振興事業は地域に根付くよう、住民の意見を反映し更新を続けること。

pickup!
P9,10

● 福祉事業

町は福祉事業を各福祉事業所に委託し進めている。

福祉事業所の経営悪化や閉鎖がある現状から、健全経営になるように、指導支援に努めること。



令和7年度 事務事業評価における提言

令和7年度の事業を検証・評価して、
意見を出し合いました！



● 農業振興事務諸経費（永平寺テロワール推進協議会事業）

RMOとテロワールの関わりをはっきりさせた上で、RMO設立までに地域と企業との交流活動を通じてリーダーの育成を図ること。RMOの運営については先進事例をよく調べ、地元主導かつ現実的なビジョンを作成すること。

pickup!
P6

● 地域おこし協力隊事業（地域おこし協力隊に関すること）

町が雇用し、まちづくり会社に派遣しているが、任期終了後、まちづくり会社が雇用するのか、独立を目指すのか、派遣元、派遣先の十分なサポートが必要である。町が定期的に隊員と面談を行い、派遣先との協議をし、定住・定着に努めてほしい。

pickup!
P6

● 学校施設整備費（屋内運動場空調設備導入）

工事費が5000万円超の工事が数件見込まれる。コスト削減は大切ではあるが、コスト削減に捉われることなく、子どもたちが快適な環境のなかで、運動ができるように子どもたちへの対応を最優先にしてほしい。来年以降も夏の猛暑は予測されるので、遅くとも令和8年6月完成を厳守してほしい。エアコンの運用要綱についても、大人優先の使いやすさではなく、子ども優先の使いやすいものにしてほしい。

pickup!
P7

● 学校給食管理運営諸経費（給食施設・備品）

センター式を促進すると学校や給食室の統廃合を見据えることになる。自校式を促進すると施設の改修費等が無駄になることも在る。慎重な検討が必要であるため詳細にわたる調査が不可欠と考える。センター式、自校式のいずれになっても給食を食べる子どもたちを最優先に考えると給食は町の直営で対応してほしい。学校給食は子どもたちが安全安心に、子どもたちの成長に応じた栄養摂取等、食の大切さの学びの場でもあることも念頭に置いて対応してもらいたい。

● 地域づくり推進事業（地域づくりに関する事業）

- ・各事業へ継続できるように補助拡充されてきている点は評価できる。今後は活動安定となる予算と体制支援の継続を。
- ・各地域の事業支援の予算は示されているが、組織運営への支援の充実を図る施策を。
- ・今後の担い手の育成に向け地元の若者の育成を（小中生のボランティア参加～中高青年層への連携支援）。

総務産業建設常任委員会

教育民生常任委員会

pickup! ● 学校施設整備費

事業費 **10億2,635万円**議会の
視点

学校プールの開放は近年、猛暑や天候不良の影響で夏休みを通してわずか1週間程度。安全面に不安のあるプール開放よりも、冷房の効いた学校体育館を利用しスポーツ協会や児童クラブ、NPO法人などと連携した新しい社会教育の形を模索することも可能。



町内小中学校の体育館にエアコンを設置する背景 /

- 熱中症対策に加え、災害時に避難所として役割を果たすだけに早急な対応が求められている

Q いつ完成？

A 永平寺町は令和8年度中には設置率100%へ！夏までの完成を目指す！

Q 財源は？

A 利用できる最終年である合併特例債を当てる。

Q 合併特例債とは？

A 合併した市町村が借入することが出来る地方債。事業費の95%まで借り入れでき、70%が普通交付税によって措置される有利な税源。



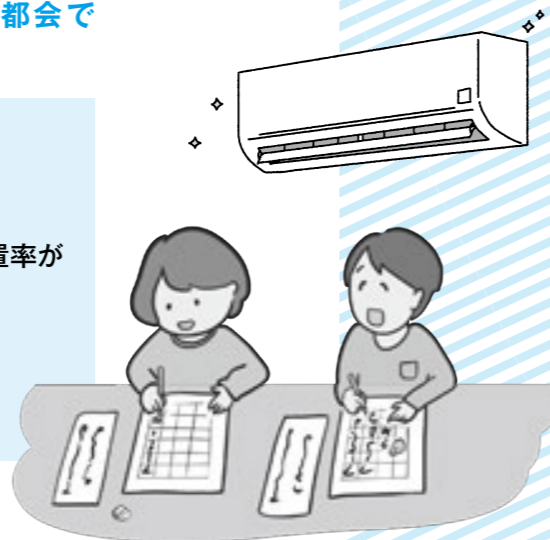
- 公立小中学校の冷房設置を巡り、地方と都会で格差が生まれている。

設置率

全国平均	…… 11.9%
東京都	…… 82.1%
★福井県	…… 1.5%
鳥取県	…… 2.0%
島根県	…… 1.4%

35道府県は設置率が
5%以下

※令和6年9月定例会の補議員の一般質問より参照



pickup! ● 農業振興事務諸経費

事業費 **528万円**議会の
視点

地域振興を目的とする組織「農村RMO」の設立が予定されている。これまでの取り組みから担い手不足等課題の抽出を行い、効果の見込める事業展開とそれを実行しうる人材育成が望まれる。



pickup! ● 地域おこし協力隊事業

事業費 **567万円**議会の
視点

事業の目的として隊員任期後の定住があるが、当町の定住率は全国平均よりも劣るようである。令和6年度に隊員の任期途中の退職があり、定住促進を図る工夫が欲しいところである。
今年度実施した採用前体験事業の効果を期待したい。



地域おこし協力隊 跡部さんにインタビューしました /

Q 神奈川県出身と聞くと、永平寺町に住んでみた上での印象

A 私の大好きな山間の景色・星空・鉄道・河川やダム、美味しいお米や野菜が凝縮された、心落ち着く町です。

Q 採用前の体験事業について思うところ

A 採用前に2泊3日させていただいたことで、多様な方と関わり、地域の様子を見聞きすることができ良かったです。

Q 現在取り組んでいる事、これから取り組みたいこと

A 施設・イベントなどを取材してSNSに投稿しており、今ある魅力を更に多くの人に伝えたいと思っています。

Q 町民に向けたメッセージ

A 地域の皆さまと共に魅力を発見し、盛り上げていきたいと思っていますので、どうぞよろしくお願いします！



地域おこし協力隊
跡部 真子さん

pickup! ● 地域づくり

事業費 163万円

議会の
視点

補助金制度を設けての「待ち」の姿勢ではなく、地域へ積極的に出向き1番の地域資源である人材を発掘し、地域を盛り上げてくれるイベントなどが活発に行われるよう期待する。



例1 わがまち夢プラン補助金を使っている事業を紹介します

事業名・代表者

DANNE.DANNE (ダンスイベント)
実行委員会 代表 吉田 敏博 さん

事業内容

ダンスイベント「DANNE.DANNE」を4回開催し、町内外の子どもたちが参加。また、御陵公民館にて大学生から小学生までの世代を超えたDANCE WORKSHOPや上志比公民館にて毎週金曜日にDANCE教室を開催。

吉田さんより一言

世間でDANCEへの注目は年々大きくなっており、オリンピックでも競技として認定されました。そんなDANCEを、永平寺町を舞台に発信・推進できることに喜びを感じています。永平寺町と言えばDANCEと認識されることを目指し、今後も活動を続けていきたいです。

実行委員会代表
吉田 敏博 さんP10
に続く

pickup! ● デマンド交通・試行運転業務

事業費 1,886万円

議会の
視点

えちぜん鉄道通学定期券の補助など評価される部分もあるが、路線バスの町内路線維持などに今後も負担が増える見込みがあるとのこと。デマンドタクシーの導入なども推進されている中、負担を抑えられる現実的な交通計画の作成が望まれる。



pickup! ● 永平寺町ブランド戦略

事業費 191万円

議会の
視点

事業成果が曖昧であるとの声が聞かれた。SHOJINブランドの商品認定数だけでなく、売上額などアウトプットを指標とした成果の表現が必要であろう。また、体験型観光に対応する必要もありそうなので、従来のブランド戦略の改訂が望まれる。



永平寺町商工会会長 大谷さんにインタビューしました

Q ブランド戦略について思うところ

A 永平寺町にある独自の魅力や資源を活かし、町の価値を高める取り組み。SHOJIN認定の後押しは活性化に重要である。

Q 商工会での取組、これから取り組みたいこと

A 認定制度は品質保証や商品力の向上に繋がる。様々な評価を得ながらブラッシュアップ支援を行ってきたい。

Q ブランド戦略見直しに向けて期待すること

A 商品力や売上の向上などの成果は出ている。さらに地域の自慢、らしさにつながるよう努力と支援をお願いしたい。

Q 町民へのメッセージ

A SHOJIN認定商品は町の特徴や歴史を活かした商品。町の良さや個性の再認識に是非お試しいただきたい。

永平寺町商工会会長
大谷 英幸 さん

pickup!

● 地域づくり

例2 地元民で盛り上げるお祭を開催しました /

イベント名・主催

ふるさとフェスタ2025

主催 永平寺町志比南振興連絡協議会

イベント内容

11月9日、志比南小学校で開催。メイン会場の体育館では人形劇団たんぼぼの公演やフルーツとオカリナ&ヴァイオリンの「いのちのコンサート」など。他にゲーム・縁日広場などを設け、中学生ボランティアや、ジュニアリーダーの協力を得て多くの子どもたちが参加し賑わった。

また、町食生活改善推進委員の省塩メニューの試食、地域おこし協力隊のとん汁ふるまい、町保健推進委員の健康コーナー、町社会福祉協議会の介護コーナー、南自主防災連絡協議会の防災コーナーなど、町や各種団体の協力で400人程の参加となり、楽しい・美味しい・面白い、が盛りだくさんのイベントとなった。



こどものあそびば

えいぱーく

全天候型
屋内広場

供用開始

報道などでご存知かもしれませんが、周辺市町において子どもの遊び場の整備が進む中、永平寺町でも松岡福祉総合センター（翠荘）の2階に整備され今年度供用を開始しております。

町では計画段階で屋外に屋根を設置するような施設を考えていたようですが、近年の猛暑や冬場の悪天候などを考えると現実的とは思えず、議会では利用される施設を目指した



屋内型施設の整備を対案として示しました。

結果として既存施設の屋内に整備することになったわけですが、災害時の避難所としても利用可能であること、別室でニュースポーツも楽しめるなど幅広く町民に利用されるような施設になったのではないかと考えています。また、昨今のクマ出没などのニュースを見ると屋内はやはり安心ですね！



えいスポーツ

実際施設を覗いてみると、表紙の写真のように多数の子どもたちが遊んでいるようでした。こども家庭センター「えいぱーく」も同じ階にあり相談も出来ること、また、特に冬場の悪天候下でも快適に過ごせる施設なので、今後の利用拡大が期待されます。



12月議会 再放送日程

2月13日(金)～約1週間ほど

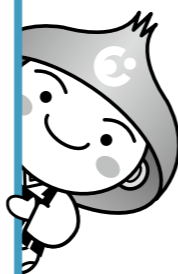
毎日放送

毎朝6:00～ 夜24:00～

約2時間番組



令和7年12月定例議会のケーブルテレビでの再放送日程は、2月13日(金)から1週間ほど、毎日朝6時からの2時間と24時からの2時間、同一内容を放送致します。放送内容は会議日程の順番に沿って毎日変わります。議会生中継をご覧になれなかった方、興味のある方は是非ご覧ください。



教育民生常任委員会 × 社会福祉協議会の皆さん

近年、社会福祉の現場の経営困難や従事する働き手不足、施設や従事者の報酬や処遇など課題が指摘されています。その現状の確認と支援方法の検討のため、意見交換を行いました。



テーマ
包括支援

ケアマネージャー等の仕事は賃金や処遇の課題から、若い人のなり手が減少していると考えている。



福祉の仕事のやりがい
を若い人に伝えきれていないのも、なり手不足の原因のひとつではないか。

テーマ
地域支援



サロンなどの交流の場が、運営の高齢化により減少してきている。若い世代に継続されていかない。

地区の人に『迷惑をかけたくない』という思いから頼れない。有償ボランティアの仕組みづくりをしてみてもどうか。



地区や町のイベントでボランティア体験の場を提供し、子どもたちにも助け合いの精神を学んでもらうのはどうだろうか。

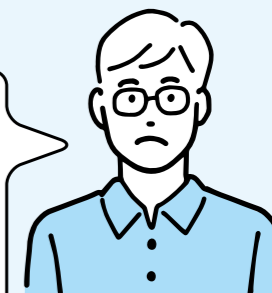
総務産業建設常任委員会 × 四地区連絡協議会の皆さん

地域交通をテーマとし意見交換を行いました。当委員会所属の川崎議員による近助タクシーの現状説明の後、1時間程度の語りに入りました。



テーマ
地域交通

近助タクシーについては運転手の高齢化が進んでいると聞く。安全性に不安があり、利用にはためらいがある。



公共交通の現状を今一度整理し、利用実態や今後の利用見込等のデータを収集し、それに基づいた事業計画の作成、実行を望む。



議会と語り会

開催しました！

各テーマについて
議員と協議会が語り合いました。
それぞれ意見の一部を紹介します。

【教育民生常任委員会×社会福祉協議会】
令和7年11月18日(火) 10:00～12:00
【総務産業建設常任委員会×四地区連絡協議会】
令和7年11月15日(土) 19:00～20:00



近助タクシーを始めるのに必要なドライバー数とか運営のノウハウが知りたい。

デマンドタクシーも近助タクシーも当面必要ないと考えている。えちぜん鉄道との競合も考えなくて良いのでは。



中学生の部活動の送迎に使えないだろうか？ えちぜん鉄道までの交通は必要になるため、利用できる嬉しい。



■ 議案への賛否一覧

議席順に掲載（賛 賛成 反 反対 一 欠席 □ 退席） ※議長（酒井圭治）は採決に加わりません

	中村	長岡	川崎	朝井	清水紀	金元	森山	清水憲	滝波	齋藤	上田	松川	楠
議案第52号	賛	賛	賛	賛	賛	反	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛
議案第76号	賛	賛	賛	賛	賛	反	賛	賛	賛	賛	反	反	賛
議案第77号	賛	賛	賛	賛	賛	反	賛	賛	賛	賛	反	反	賛

※反対または退席があった議案だけ掲載しています。したがって、その他の議案等27件については全員賛成です。

議案への賛成反対討論

議案第52号 令和6年度一般会計及び特別会計の決算認定について

反対討論

金元 直栄

一般会計 反対の理由は①職員のカウンセリングの増が見られる。職場で安心して“モノ”が言える 体制になっているのか、答弁では見えない。②自治体事務の国による標準化システムへの移行、効率的にサービスの向上というが、問題あるのに、聞こえてこない課題。③地域づくり応援課の準備に向け、永平寺、上志比支所を事務分掌からなくすのは支所の廃止だ。④町の福祉行政、町社協はここ何年か大きな赤字を計上しているのに町の対応は遅すぎる。などの理由で一般会計の決算に反対する。特別会計 「国民健康保険特別会計」は本町の保険料、県下1位は問題。早い対応が必要だが、見られなかったこ

と。「後期高齢者医療制度特別会計」では、医者にかかった時の支払いや薬代が1割負担から2割負担やそれ以上の支払いとなることで反対だ。「介護保険特別会計」では、保険料の集めすぎで金余りが生じている。町実施の総合事業で町の独自色も見られないことから反対だ。

賛成討論

清水 紀人

社会経済情勢が大きく変動する中、町民の生活を守り、地域の将来を見据えた施策が概ね適切に執行されていることを確認しました。歳入歳出ともに適正に執行され、永平寺町の行政運営が将来への投資に寄与したものと判断いたします。

議案第76号 令和7年度国民健康保険事業特別会計補正予算について

反対討論

金元 直栄

子ども子育て支援金抛出のための、会計システム変更予算は認められない。理由は、なぜその負担を社会保険に求めるのか。子の減少対策は、次世代の労働力の確保のためでもある。財源は大企業から相当の負担を求めることや、内部留保への課税などで行うべきだ。

賛成討論

森山 充

賛成の立場から発言する。制度の存続に有用と考え賛成する。

反対討論

上田 誠

少子高齢化が進み人口減少社会に対する課題の一つに、子ども子育て支援のあり方が問われている。その対策は重要かつ緊急性は認識している。しかし、令和8年度より始まる支援金制度の財源を、年金生活高齢者が多数占める国保会計に求めるのは筋違いであり、増税の何者でもない。別予算会計で処理すべきであり、反対せざるを得ない。

賛成討論

長岡千恵子

子ども子育て支援分は人等的に割り当てることには疑問。国で決定している事なので、令和8年4月に向けてシステム改修は必要と認め賛成する。

議案第77号 令和7年度後期高齢者医療特別会計補正予算について

反対討論

金元 直栄

子ども子育て支援金抛出へのシステム改修予算へは反対だ。理由は、なぜその負担を社会保険へ求めるのか。それも人頭割の性格が強い。財源は、国保会計でも述べた。さらに、このやり方は高齢者と若者を分断させるやり方で認められない。

賛成討論

楠 圭介

令和8年に創設される子ども・子育て支援金は、たしかに国民保険や後期高齢者医療保険に加入されている皆様にも負担をお願いする事になるが、それは決して一方的な押し付けではない。将来、地域を支える若い世代が育たなければ医

療・介護を維持すること自体が困難となり、結果として高齢者の皆様により大きな不安と負担をもたらすことになる。

反対討論

上田 誠

国保会計同様に、令和8年度より始まる子ども子育て支援金制度の国民負担を同様に後期高齢医療会計に求めるのは筋違いである。特に低所得年金受給者にとっては、毎年上る金額は大きな負担となる。よって反対せざるを得ない。

賛成討論

森山 充

賛成の立場から発言する。政府の方針に準ずるべきと考え賛成する。

令和7年 第5回定例会報告

令和7年第5回定例会は、12月2日（火）から12月23日（火）に開催されました。審議された内容は、次のとおりです。

第5回定例会議案

議案第52号 令和6年度一般会計及び特別会計の決算認定について 一般会計 歳入 111億8829万円 歳出 106億7486万円	認定	議案第76号 令和7年度国民健康保険事業特別会計補正予算について 歳入歳出補正額 1億1046万円増額	
議案第53号 令和6年度上水道事業会計の剰余金処分及び決算認定について 収益的収入 3億6530万円 収益的支出 2億9779万円	可決及び認定	福井坂井地区広域市町村圏事務組合負担金(子ども・子育て支援金制度システム改修)459万8000円 高額療養費 2600万円等	可決
議案第54号 令和6年度下水道事業会計の剰余金処分及び決算認定について 収益的収入 7億7451万円 収益的支出 6億9400万円	可決及び認定	議案第77号 令和7年度後期高齢者医療特別会計補正予算について 歳入歳出補正額 108万円増額	
議案第67号 松岡福祉総合センター条例の一部を改正する条例の制定について 松岡福祉総合センター(翠荘)内に子どもの屋内遊び場及びニュースポーツ広場を開設する事による改正	可決	福井坂井地区広域市町村圏事務組合負担金(子ども・子育て支援金制度システム改修)	可決
議案第68号 子どもの屋内遊び場設置及び管理に関する条例の制定について 松岡福祉総合センター(翠荘)内に子どもの屋内遊び場を開設 子どもの健全育成と子育てができる環境の充実を目的とする	可決	議案第78号 令和7年度介護保険特別会計補正予算について 歳入歳出補正額 1028万5000円増額 令和6年度決算における剰余金分積立 570万円 令和6年度介護給付費負担金等の国庫等返還金 392万1000円等	可決
議案第69号 ニュースポーツ広場条例の制定について 町民の交流の促進と健康増進の充実を図るため翠荘2階にニュースポーツ広場を設置	可決	議案第79号 令和7年度町立在宅訪問診療所特別会計補正予算について 歳入歳出補正額 1626万4000円増額 令和6年度決算における剰余金分積立 1620万円等	可決
議案第70号 一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について 国の人事院勧告による改正に準じての給与・各種手当等の引き上げなど 町議会議員の月額報酬の引き上げ(令和8年8月1日から適用)	可決	議案第80号 令和7年度土地開発事業特別会計補正予算について 歳入歳出補正額 736万4000円増額 償還金(一般会計へ)清水宅地2区画	可決
議案第71号 火災予防条例の一部を改正する条例の制定について 林野火災注意報や林野火災警報の的確な発令等によって 林野火災予防の実効性を高めるための条例改正	可決	議案第81号 令和7年度上水道事業会計補正予算について 収益的収入 310万円減額 支出 102万5000円増額 資本的支出 133万1000円増額 借地(上志比送水ポンプ場の底地)の購入に伴い土地購入費等	可決
議案第72号 家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例等の一部を改正する条例の制定について 「児童福祉法」における児童虐待防止に関する規定が改正されたことに伴い子育て支援に関係する条例を改正する	可決	議案第82号 令和7年度下水道事業会計補正予算について 収益的収入・支出 8万2000円減額 資本的収入・支出 230万円増額 公共樹設置工事申請件数の増加に伴い公共樹設置に要する経費等を補正	可決
議案第73号 町議会議員及び町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例の制定について 公職選挙法施行令が改正され選挙運動用ビラ及びポスターの公営に要する経費が引上げられたことによる一部改正	可決	議案第83号 福井坂井地区広域市町村圏事務組合規約の変更について 事務組合規約の第3条「共同処理する事務」について一部を変更	可決
議案第74号 志比南公民館条例の制定について 志比南地域の社会教育の拠点として地域活性化の促進・福祉の増進のため志比南公民館を設置	可決	議案第84号～議案89号 松岡小学校・御陵小学校・上志比小学校 松岡中学校・永平寺中学校・上志比中学校 体育館空調設備整備工事(機械設備)の請負契約締結について 体育館空調工事5000万以上の請負契約締結について採決	可決
発委第2号 町議会の議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について 人事院勧告に併せ議員期末手当の支給割合の改正を行うための一部改正	可決	議案第90号 令和7年度一般会計補正予算について 歳入歳出補正額 3807万7000円増額	
議案第75号 令和7年度一般会計補正予算について 9億610万1000円増額 全国瞬時警報システム受信機更新工事 377万3000円 排水ポンプ車購入 297万円 生活交通路線維持対策事業補助金 206万9000円 児童手当 507万5000円 児童発達支援 636万円 吉波地区の農業用水ポンプの更新事業費1600万円等	可決	福井県知事選挙に係る人件費 896万2000円 物価高騰への対応支援等	可決
		議案第91号 令和7年度介護保険特別会計補正予算について 歳入歳出補正額 245万円増額	
		令和7年度税制改正に伴う介護保険システム改修費用負担金等	可決
		議案第92号 令和7年度上水道事業会計補正予算について エネルギーや食料品等の物価高騰の影響による町民への負担軽減支援策として 減免する水道料相当額を一般会計からの補助金で補填する 1820万円	可決

問 LINEを双方向型へ発展させては **答** 即時回答が難しいため検討に留める



問 永平寺町ではLINE公式アカウントを活用し、町民にとって身近で分かりやすい情報提供が既に実現しているが、情報を一方通行に配信するだけでなく、今後は町民が行政に意見を届ける、または必要な情報や手続きを自分で選択取得できるような双方向型へと発展させることが必要ではないか。例えば町民がLINEを通じて意見や要望を投稿できるホームページのみで実施しているパブリックコメントの代替機能の導入を検討してみている。

総務課長 LINEを利用した双方向型のやり取りには即時回答型のやり取りが重要になると思うが、外部からの問合せに対しては庁内で意見を取りまとめたからの返信になるので、その特性を生かしていくのではないかと考えている。ただ、今回の提案を受けて公式LINEアカウントに、ホームページのお問い合わせに繋がるメニューを追加した。

検討 議会としても幅広く、特に若い世代の意見を時間や手間をかけずに集められるよう、デジタルを使った双方向型ツールの導入の検討していきたい。

楠 圭介議員



問 “平和な暮らしと自然を守りましょう”具体策は **答** 県などと緊密に連携して対処する



太陽光発電

問 国のエネルギー政策において再生可能エネルギーが求められている。それに伴い大規模開発による自然破壊が行われている。抑制するために自治体独自で条例制定するところもあるが、本町でも行わないのか。

えい住支援課長 事業者に盛土規制法の規制内容の周知徹底を行い、違法性、危険性の疑いがある場合、県に情報提供し事故の未然防止対策をとっていききたい。

総合政策課長 県において環境配慮基準を設定すると聞いている。市町においては、それをもう少し細かい基準設定が必要になると考える。

問 「えちぜん鉄道」本町において一部危険箇所があるが、改修しないのか。

総合政策課長 山際の危険箇所は24時間体制で監視し、危険を事前に検知する体制である。

町長 森林環境税を使つての山ざわ整備事業で安全確保できないか、関係機関と連携し進めていきたい。

清水 憲一議員



問 高齢者対応窓口の一元化を **答** 相談部署を作ることは可能

問 子どもの相談窓口として「子ども家庭センター」を新設。高齢者対応窓口も一元化できないか。

町長 地域包括支援センターや地域づくり応援課で対応しているが、相談部署みたいなのを作ることは可能と思う。

介護用品支給事業の改善を
問 昨年12月の一般質問で、介護用品支給事業の改善が必要と提言。今年になってアンケートを実施した。アンケートから見えてきたものは。

福祉保健課長 アンケートの結果から、要介護度によって利用状況や利用金額が異なることがわかった。

問 改善策は。

福祉保健課長 令和8年7月からは、介護度に合わせて支給券を設定する方向で協議を進める。

在宅介護者への支援の充実を
問 在宅で介護をしている人が心身ともに健康に暮らせる支援と工夫が必要では。

福祉保健課長 家族介護交流事業や認知症カフェがある。

町長 要望は大きな課題。介護されている方に目を向けた政策を考えていきたい。

長岡 千恵子議員



12月定例会

そこでが聞きたの！

一般質問という名の政策提案

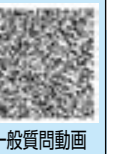
10名の議員が町政全般について、一般質問を行いました。
一般質問は議事録に基づき質問議員本人がまとめています。

【一般質問：目次】

森山 充 16P	楠 圭介 17P	清水 憲一 17P	長岡千恵子 17P
川崎 直文 18P	上田 誠 18P	清水 紀人 18P	松川 正樹 19P
金元 直栄 19P	滝波登喜男 19P		

12月定例会 一般質問
YouTube にアップ

一般質問の様子を動画で見ることが出来ます。議会の様子や議員の質問内容など、静かに白熱した様子がうかがえます。皆さんの視聴を歓迎いたします。



問 在宅療養支援診療所増設の見込は **答** 既存施設の充実を図り増設しない

問 町内医療介護施設の現状と課題は。課題解決に向けた方向性と今後の展望は。

福祉保健課長 一般診療所は8か所、歯科医院が6か所ある。また、訪問介護ステーションは4か所、介護サービス事業者が23事業所ある。医療機関においては医師の高齢化に伴う不足が、介護施設についても人材確保に課題があると考えている。国や県においても処遇改善や業務の効率化を図っているが、町においても定期的な介護事業者との意見交換を実施し、必要とされる支援を行っている。今後は町民の健康づくりやフレイル予防に注力していきたいと考えている。

問 町立診療所運営の現状と課題は。町総合振興計画に記載のある診療所増設の見込は。

福祉保健課長 現状黒字経営を確保しているが、令和8年度には赤字が見込まれている。業務の効率化を図りつつ医療機器の更新にふるさと納税の利用を考えている。

町長 計画作成段階では2か所目が必要と考えていたが、高齢者数の減少が見込まれるので、既存施設の充実させた方がよいと考え断念した。



在宅訪問診療所

森山 充議員



問 上志比の公園は過疎化を突破できるか 答 公園は自然・健康・防災・交流の拠点として役割を担う

【お知らせ】12月10日の一般質問において、松川議員から文化祭作品出展に関する不適切な発言がありました。これに対し、本人から取り消しの申し出があり、議会の承認を経て、当該発言を取り消しました。

学校教育課長 地域の持続的発展計画の基本方針に、町民が快適に暮らすことができる公園や、緑地の整備に努めると記されている。



上志比プール

問 上志比公園の構想、議会で課長から聞いてはいるが、いつも尻切れトンぼ。議員の中には反対論もある。疑問もあるので深い議論をしたい、ズバリどんな公園か。そして、なぜ公園なのか。公園の結論を出すのに性急だった。アンケートで一番だったというが、詳しいデータがない。画期的公園が伝わってこない。上志比は国から過疎地域に指定され、一日も早く脱却する政策を実現するように3年ほど前から言われ続けている。その町の持続的発展計画のどれに公園は当たるのか。どうリンクしているのか語っていたください。公園計画の集客力との整合性を説明願いたい。

松川 正樹議員



◆その他の質問…世界大会エリガノス賞をどう生かすか。無名塾に町出身の方が在籍されていた。県美展入賞者に聞け。松岡清水区元町営住宅の開発は断念したのか。自動走行コースの拡大は。熊の出没対策は緊急。

問 本町の熊対策はどうか 答 緊急銃猟は町の責任で

保育士募集しても集まらないのが問題 保育士が集まらないのは、人手不足だからと言うが、永平寺町の保育士にならなりたいという、保育士として働く環境づくりが必要だ。

子育て支援課長 保育士採用試験の内容や募集方法を見直し、受験される方の負担を軽減するとともに、休暇の取得を勧めたり、事務事業を見直すことで、より働きやすい勤務体制づくりに努めている。

自治体情報システムの標準化の狙いは 国は自治体基幹業務20事業を国のシステムに移行するという。狙いは何か。また、町独自の施策はどうなる。個人情報報は守れるのか。

総合政策課長 共通システム化は自治体間でも職員においても効率よく、町民サービスの向上につながると進めている。実際の経費は膨らんでいると聞いている。

農林課長 町は鳥獣害対策実施隊を設置し、大半の猟友会員は捕獲隊員として従事。緊急銃猟は町の判断で実施だが、責任も町が負う。待遇は調整中。

問 本町のクマ対策緊急銃猟への体制は取れているのか。また、待遇や責任はどうなるのか。熊が人里に普通に出没するのは、中山間集落の荒廃も原因だ。

金元 直栄議員



問 一人一人を伸ばす教育の推進を 答 福井版ポジティブ教育の実践

公共施設老朽化への対応 原材料や人件費が高騰し、昨年より2倍近くに上昇している。多くの老朽化した施設・インフラの維持管理費や改修費は財政に大きく影響を及ぼすことになる。

財政課長 現在の基金52億円に合併特例債の16億円を上乗せした。今後、インフラ投資をする際に国の補助を活用する前提で、10年間は十分対応できる。

問 今の教育で重視するのは、自分で考え判断し、仲間と協働して課題解決すること。一人一人を伸ばす教育を目指すことである。これをキャリア教育というが、本町の実践は。

教育長 「福井版ポジティブ教育」を令和5年から実施している。そこで、自己肯定感や生き方などを学んでいる。

問 文科省が小6と中3の生徒を対象に実施している学習状況調査の中で、自己肯定感や満足感の項目がある。本町はどれくらいの数値なのか。

滝波 登喜男議員



◆その他の質問…婚活支援を町がより積極的に。

問 空き家を利用した定住の推進 答 「移住定住促進事業」等で支援

問 「移住定住促進事業」の空き家利用に対する支援は。

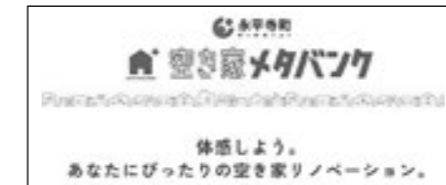
えい住支援課長 3つの補助金の令和5年度からの実績は次の通り。

「移住促進に向けた空き家解体及び撤去補助金」は1件、30万円で、事業を見直す。「空き家対策居住環境整備補助金」は6件、120万円、「空き家家賃支援事業補助金」11件、168万2千円。

問 空き家を有効活用し、定住を促進する「永平寺町空き家メタバンク」の状況は。

えい住支援課長 サイト開設の5月から11月までのアクセス数が6,215件。9件の物件のうち2件が成約。

実証事業を令和8年3月まで延長する。アクセス改善を行い、本運用を目指す。



永平寺町ホームページの「えい」より

◆その他の質問…支障木伐採事業の継続。

問 持続可能な(支え合い)地域支援は 答 地域(団体)と協議し各課協力・支援する

問 持続可能な支え合いの地域支援の基本は①活動する組織作り②集まれる拠点③活動を支える資金④活動の支援体制。そのきっかけの一つに、地域づくり計画策定や誰もが助け合える有償ボランティア組織の設立。伴走支援を。

生涯学習課長 計画作成した地域は現在ない。熱意を大切に協議し支援する。

福祉保健課長 有償ボランティアなどを活用した地域の支え合い活動を社協と協力し支援する。

地域づくり応援課長 各課連携を図り地区意見を聞き支援する。

教育ビジョン(教育方針)の見える化は必要 視察先では教育方針を「教育ビジョン」(ダイジェストパンフ)として町民・保護者に示し、理解と信頼関係や意識高揚を図るための「見える化」を行っている。当町でもやってみよう。

教育長 教育方針は毎年見直し、保護者・関係者に配っている。県下ではダイジェスト版として出していない。当町も同じ方向。

問 視察先はどうしても通学できない子ども(不登校)のために学校外に、のぞみ教室(分教室)を26年前から設け誰一人取り残さない教育を実践しているが、当町でも必要では。

◆その他の質問…通学路の速度30キロ規制を。

問 重点支援地方交付金について 答 お米券ではなく応援券で対応したい



◆その他の質問 町内体育施設の予約受付について。

町長 国やその他支援の配分額確定を踏まえ、支給額を決めていく。また、商業や農業支援も含め各課で検討を進める。今回も現状課題を把握して、必要な支援事業を行う。

問 住民生活の物価高負担軽減と同時に、町内経済の活性化を期待。どの支給方法を検討しているか。

総合政策課長 本町には約2億円程度の配分が見込まれ、国による電気・ガス料金支援に加え、自治体にも年内の予算化が求められている。本町では迅速な支援策として、水道基本料金等の減免、町内私立保育園に通う家庭への給食費高騰分支援、低所得世帯への就学支援拡充を本議会中に実施。経済対策事業、国が特に推奨する食料品の物価高騰の負担軽減策として、全町民の皆様には生活応援券で対応していきたい。今までの実績もあり町民の皆様にも公平な生活支援を行える。また併せて町内事業者の方への支援と、町内・地域内経済の下支えなど、二重三重の効果も期待ができる。3月議会を最終として今年度中に全ての事業を決定したい。

問 国やその他支援の配分額確定を踏まえ、支給額を決めていく。また、商業や農業支援も含め各課で検討を進める。今回も現状課題を把握して、必要な支援事業を行う。

清水 紀人議員





議員が考える今年の漢字は？ (2025年を振り返って) その心は？

議員全員に問う！



中村 勘太郎 議員

豊

永平寺町合併20周年!相乗効果を生かし、地域の皆様と四季感あふれる暮らしやすいまちづくりに向かって頑張りましょう。



長岡 千恵子 議員

達

仕事と趣味(合唱)の双方でチャンスにも恵まれ自身が目標としているラインに到達が可能な一年だった。



川崎 直文 議員

地

地域の観光活性化の司令塔となる観光地域づくり法人DMO、地域コミュニティを維持する農村RMOの取り組み



朝井 征一郎 議員

健

病気になって改めて健康に感謝。



清水 紀人 議員

教

対話と学び直しを通じ、社会や政治のあり方を問い直す一年だった。



金元 直栄 議員

水

今年は米作りも湯水に泣かされました。異常気象が続く今日、地球はどうなっていくのでしょうか。



森山 充 議員

省

一年を省みて省人化、省力化、省エネを検討してみてもは？どうだったの？どうなるの？永平寺町。



清水 憲一 議員

繋

子ども真ん中「松岡西公園」「えいパーク」ができ、子ども達の声が響いている。引き続き 次世代に繋げるための施策を。



滝波 登喜男 議員

節

合併20年という節目の年。町を支えていただいた先人に感謝し、未来の住民のために一丸となって努力します。



齋藤 則男 議員

継

「継続は力なり」どんなに小さな努力でも、地道に続けていけば、やがて大きな成果や成功につながるものだと思います。今日、全てにおいて後継者不足が問われています。責任を転嫁することなく生きて行きたい。



上田 誠 議員

変

世界や日本を取り巻く気象・平和・政治・経済・事件など、様々な事象の変化が思いもよらない方向に動く年。



松川 正樹 議員

地

「いなか」「自然のまま」「本性」という意味だが、地味で地道な地方を目指す。



楠 圭介 議員

灰

全てに白黒付けることが正しいとは思わないが、そうすることで物事の本質が表面化してくる感じた。



酒井 圭治 議員

笑

わら神様降臨。新町20周年、安全安心な町づくりに笑顔で繋がる地域コミュニティの実現。

